

授業科目

コミュニケーション学入門（介護福祉コースを除く）

担当教員名 五十嵐 紀子	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・視機・救急・健栄・スポ・社会（介護福祉コースを除く）・看護・情報
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○

授業の概要

コミュニケーションの基礎理論、概念を日常の具体例を用いながら学ぶ。社会の中で当然視されている様々なことが、私たちのコミュニケーションにどのような影響を及ぼしているのか、また、私たちのコミュニケーションがもたらす影響力とは何かに注目し、日常のささいなできごとや、様々な現象に対する洞察力を高める。

授業の目的

一般的によく使われている「コミュニケーション」「コミュニケーション能力」とは一体何であるのか、コミュニケーション学という「コミュニケーション」とは何が違うのか、ということを出発点として、身の回りのささいな出来事や問題に目を向けることができるようになる。

コミュニケーションを学ぶとは関係性を学ぶことであるということを理解することが、本講義の大きな目的のひとつである。

将来、保健医療福祉、及び、教育のそれぞれの専門職として遭遇するであろう様々な状況において、本講義での学びを振り返り、活かす意欲を高める。

学習目標

1. コミュニケーション理論を理解する
2. 身近なことや社会現象などに学んだ理論を照らし合わせて考察できる
3. 多様なものの見方があることを知り、自分とは異なる存在との共生について関心を持つ
4. より良い人間関係の形成のための素養を高め、実践しようとする

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション： 影響力について考える	・一般的な「コミュニケーション」と、コミュニケーション学で考える「コミュニケーション」との違いについて ・コミュニケーションを学ぶ意義 ・コミュニケーション学における、重要なキーワード（シンボル、コンテキストなど） ・授業計画や評価について	五十嵐 紀子
2	コミュニケーション能力とは	・「コミュカ」「コミュ障」といったことばについて見直す ・これからの「コミュニケーション能力」とは？	五十嵐 紀子
3	言語・非言語	・言語シンボル、非言語シンボルにはどのようなものがあるか ・身近な言語・非言語を例に、意味づけや関係性について考える	五十嵐 紀子
4	非言語：時間と空間	・時間の様々な捉え方 ・空間というメディア	五十嵐 紀子
5	個人内コミュニケーションと対人コミュニケーション	・自己と他者との関係性 ・認識の枠の違いに着目する ・ステレオタイプの問題について考える	五十嵐 紀子
6	文化と社会とコミュニケーション	・文化とは何か、異文化とは何か ・伝統文化、身近な現代の文化について考える ・現代社会における権力から無自覚に影響を受けていることについて	五十嵐 紀子
7	マスメディア・インターネットの影響	・テクノロジーが、コミュニケーションにどのような影響を与えてきたか ・マスメディアの影響力について考える ・インターネットによるコミュニケーションの変化	五十嵐 紀子
8	まとめ		五十嵐 紀子

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他

教科書						
参考書	日常から考えるコミュニケーション学	池田理知子	ナカニシヤ出版	2015年	2,000円+税	授業で扱わないページもありますが、授業の内容に関連して、あるいは発展的に読んでいただきたい本です。参考になるので、可能であれば購入することをおすすめします
	よくわかるヘルスコミュニケーション	池田理知子、五十嵐紀子	ミネルヴァ書房	2016年	2,400円+税	後期に開講される対人コミュニケーション論では「教科書」として指定されているので、対人コミュニケーション論も履修する人は前期のうちに購入しておくことをお勧めします。
	よくわかるコミュニケーション学	板場良久、池田理知子	ミネルヴァ書房	2011年	2,500円+税	
	よくわかる異文化コミュニケーション論	池田理知子	ミネルヴァ書房	2010年	2,500円+税	
その他の資料	授業のスライド、ハンドアウト					授業で配布の上、パワーポイントの資料は授業終了後にポータルサイトにUPする

評価方法

コメントシート90%、授業参加10%

コメントシート： 毎回の授業の終了時に、指示された内容をコメントシートに書く。授業の感想や、授業の内容に関連するテーマについて、考えたことを書く。毎回のコメントシートごとに採点し、合計点が成績の90%となる。

授業参加： 授業中の発言や質問等、授業に主体的に関わったかどうか自己評価する。最終授業の際にポータルサイトにて入力する。

履修上の留意点

- ・講義形式ですが、授業中意見や感想、質問などを求めます。積極的に授業に参加する姿勢を高く評価します。
- ・授業中の私語、指示された時以外のスマートフォンなどの操作は禁止します。
- ・ノート代わりに、PCやiPadなどの使用することを認めます。
- ・授業終了後に、授業で使用したパワーポイントのスライド資料をPDF形式でポータルサイトにUPします。その他、参考にしてほしい情報や役に立ちそうな資料なども載せることがありますので、定期的に確認して下さい。
- ・全8回の授業となります。2回以上欠席した場合、評価の対象外となりますので注意して下さい。
- ・また、毎回のコメントシートの点数の合計点が成績評価の大半を占めますので、欠席しないように気を付けて下さい。
- ・やむを得ない理由で欠席しなければならない（欠席した）場合は、欠席届を提出の上、課題レポートの指示を受けて下さい。

オフィスアワー・連絡先

原則として、メールでアポイントを取ってから（日時のお約束をしてから）いらして下さい。メールでの相談や質問はいつでもOKです。

研究室：J406（J棟 4F）

メール：igarasi@nuhw.ac.jp